

**ネットワンシステムズ、米国SeaMicro社の
10RUのシャーシ内に64個のクアッドコアIntel® Xeon®プロセッサを搭載した
業界最高クラスの高集積度・省電力・省スペース新サーバ「SM10000-XE」を発売**

**～稼働するアプリケーションに応じて、柔軟なプライベートクラウド基盤と、
SM10000ファミリによる大規模アプリケーションサービス基盤を選択して提供可能に～**

ネットワンシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役 社長執行役員：吉野 孝行、以下ネットワンシステムズ）は、データセンターの大きな課題となっている消費電力・機器設置スペースを劇的に削減するサーバを開発するSeaMicro Inc.（シーマイクロ、本社：米国カリフォルニア州、CEO：Andrew Feldman、以下SeaMicro）製の、業界最高クラスの高集積度・省電力・省スペースを実現した新Xeon®サーバ「SM10000-XE」を、本日より発売いたします。

「SM10000-XE」の主な販売対象として、インターネットポータル・オンラインゲーム・データ分析・仮想デスクトップサービス・パブリッククラウドサービスなどの大規模なアプリケーションサービスを提供する企業・組織を想定しています。売上目標は今後3年間で、SM10000ファミリ合計で30億円です。

製品名	発売時期	最小構成価格
SM10000-XE	2月14日	1,900万円～（税込）

「SM10000-XE」は、高さがわずか10RU（約44.5cm）のシャーシの中に、低消費電力かつ高性能なサーバ向けプロセッサ「Intel® Xeon® Processor E3-1260L」（4コア 2.4GHz、ハイパースレディング対応、TDP 45W）を64個搭載するとともに、最大2TBのメモリ、ストレージ、スイッチ機能、負荷分散機能、サーバ管理機能といった、データセンターに必要な機能を集約して搭載しています。

これによって、同程度の性能のCPUを搭載したラックマウント型サーバと比べて、消費電力を1/2に、設置スペースを1/3に削減するとともに、12倍のネットワーク帯域を提供します。

「SM10000-XE」は、CPU性能・メモリ搭載量・ネットワーク帯域のバランスにおいて、大規模なアプリケーションサービス基盤にパフォーマンスが最適化されたアーキテクチャを備えています。

ネットワンシステムズは既に、フロントエンドWebサーバ用途として、超低消費電力の32bit-Intel® Atom™ Z530（1コア）プロセッサを512個搭載した「SM10000」、64bit-Intel® Atom™ N570（2コア）プロセッサを256個搭載した「SM10000-64」、及び、同プロセッサを384個搭載したSM10000ファミリ最大の集積度を誇る「SM10000-64HD」を発売しています。

今回、製品ポートフォリオにIntel® Xeon® E3プロセッサを搭載した「SM10000-XE」が加わることによって、フロントエンドWebサーバのみならず、アプリケーションサーバからデータベースサーバの一部まで領域を拡張してSM10000ファミリでカバー可能になり、より省電力・省スペースなデータセンターの構築が可能になります。

この度の「SM10000-XE」によるSM10000ファミリの拡張によって、プライベートクラウド基盤をご要望のお客様にはCisco Unified Computing Systemを始めとする高性能CPUを搭載したサーバを用いた柔軟な環境を、また大規模なアプリケーションサービス基盤をご要望のお客様にはSM10000ファミリを組み合わせた環境を提供することで、お客様がご要望のシステムに最適なデータセンターアーキテクチャを選択して提供することが可能になります。



■ 「SM10000-XE」の特長

- (1) データセンター内のラックに搭載される機器を10RU（約44.5cm高）に全て集約
高さがわずか10RUの製品の中に、インテル社のサーバ向け省電力・高性能プロセッサ「Intel® Xeon® Processor E3-1260L」（4コア 2.4GHz、ハイパースレッディング対応、TDP 45W）を64個、最大2TB（1CPUコアあたり32GB）のメモリ、ストレージ、スイッチ機能、負荷分散機能、サーバ管理機能を集約して搭載しています。
- (2) SeaMicro社独自開発の「Freedom™ Fabric ASIC」による省電力・省スペースの実現
SeaMicro社独自開発の「Freedom™ Fabric ASIC」によって、I/O仮想化機能およびTIO™ (Turn It Off) 機能を実装しています。I/O仮想化機能によって、マザーボード上のCPU、メモリ、ASIC以外の部品を削減することでマザーボードを大幅にコンパクトにし、消費電力およびコストも削減しています。また、TIO™ (Turn It Off) 機能によって、使用していないCPUとチップセットの機能を止めることができ、さらなる省電力化を実現しています。さらに、これらのコンパクトかつ省電力なマザーボード同士は「Freedom™ Fabric ASIC」によって、多次元輪環（Multi-Dimensional Torus）構造を構築し、1.2テラビット/秒で高速に相互接続されています。

(3) 現在のデータセンターの環境に手を加えることなく容易に導入可能

「SM10000-XE」は、従来、サーバとは別に機器が必要だった、スイッチ/サーバ管理/負荷分散の機能を高度に統合しているため、運用・管理を容易に行うことができます。また、x86アーキテクチャに対応しているため、既存のOS/アプリケーション/管理ツールに手を加えることなくデータセンターへ導入することが可能です。

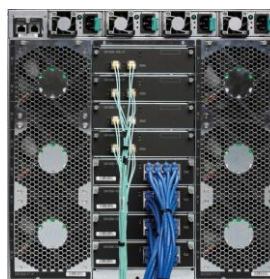
(4) アプリケーションサービス基盤でボトルネックとなるネットワーク帯域を潤沢に備える

アプリケーションサービス基盤では、ネットワーク帯域がパフォーマンスのボトルネックとなる場合が多くあります。「SM10000-XE」では、4コアプロセッサに10ギガビット/秒のネットワーク帯域が割り当てられおり、1コアあたり2.5ギガビット/秒と、他のサーバに比べて非常に大きな帯域を備えています。

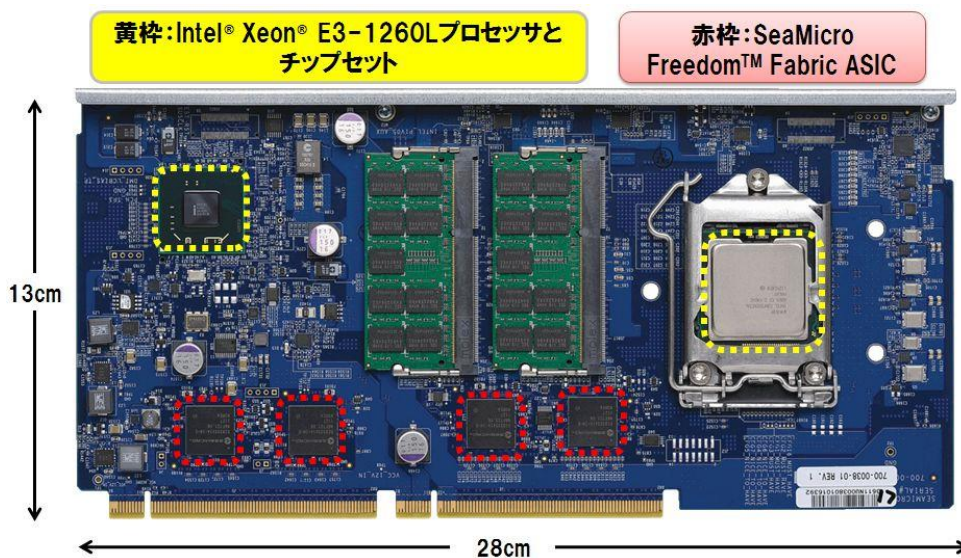
■ 「SM10000-XE」の製品写真



【製品前面】



【製品背面】



【Compute Card】

SeaMicro Inc. について

SeaMicro は、従来型のサーバに比べ、消費電力と機器設置スペースを 75%削減することによって、データセンターの構造を大きく転換させる企業です。SeaMicro は、CPU 設計/仮想化/スーパーコンピューティング/ネットワークという、複数の技術領域における飛躍的な革新によって、オンラインゲーム/検索/索引の演算などの、web 層で用いられるスケールアウト用のサーバに最適な、新しいアーキテクチャを生み出しています。

SeaMicro は 2007 年に設立され、Khosla Ventures、Draper Fisher Jurveston、Crosslink Capital を含む、シリコンバレーの主要な投資家から支援を受けています。また、米国エネルギー省からはアメリカ復興・再投資法の一部として 930 万ドルの支援を得ています。これはサーバ開発企業への支援の中で最大の金額です。より詳細な情報は、www.seamicro.com をご覧下さい。

ネットワンシステムズ株式会社について

ネットワンシステムズ株式会社は、常に国内外の最先端技術動向を見極め、ネットワーク領域とプラットフォーム領域において、自ら検証した製品に高品質な技術サービスを付加することによって、お客様のビジネス成功を目的として、生産性を高め、簡便に利活用できる IT 基盤ならびにコミュニケーションシステムを提供している企業です。

技術研究やシステムの稼働検証を行うテクニカルセンター、製品の入出荷検査を行う品質管理センター、遠隔でシステムの監視・運用を行うエキスパートオペレーションセンター (XOC)、保守部材の品質検査を行うサービス品質センター、技術者教育サービスを提供するネットワークアカデミーなど、グループ全体で充実した事業基盤を保有し、高信頼性・高付加価値ソリューションを提供しています。(設立：1988 年 2 月、売上高：1,308 億 57 百万円 [2011 年 3 月期連結])

※NetOneSystems、ネットワークアカデミー、ロゴはネットワンシステムズ株式会社の登録商標です。その他の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

ネットワンシステムズ株式会社 広報室：西田武史、関谷悠哲

TEL：03-5462-0772 FAX：03-5462-0890 E-mail：media@netone.co.jp